

# 第1期事業報告書

(平成24年1月18日～平成25年3月31日)

特定非営利活動法人 益田市・町おこしの会

## 【事業の成果について】

第1期の事業成果として大きなものは、以下である。

### ■益田サイクルウィークの実施

平成24年度の夏に、第一回の「益田サイクルウィーク」を実施。内外より大きな反響を呼び、高い評価を受けた。

## 特定非営利活動に係わる事業実施に関する事項

### 益田サイクルウィーク実施活動

#### 1. サイクルウィークの実施目的

全国300万人いるといわれるスポーツサイクリストに向かい、益田INAKAライドを中心としたイベント情報を発信することにより、市外からの参加者による経済的効果並びに益田市の知名度UPを図る。一方、サイクルイベントによる自転車の町としての位置付けを市民に理解してもらおうと共に、更なる環境整備の為の下地を構築する。

#### 2. サイクルウィークの実施内容

- 1) 朝のポタリング
- 2) 全国ユースキャンプ
- 3) シンポジウム
- 4) 子供自転車教室
- 5) ペダリング術レクチャー
- 6) 益田INAKAライド

### 3. 個々の活動内容

#### 1) 朝のポタリング

## 「自転車版 朝のラジオ体操」

毎日約50名に及ぶ市民の皆様に参加頂きました。朝6時半からの清々しい空気の中、自転車の楽しさを満喫しました。



#### 2) 全国ユースキャンプ

## 「目指せ！ツールド・フランス」

美都町を舞台に、全国よりインターハイ出場レベルの中高校生12名が参加。ツールドフランスを目指す選手の目の輝きが違いました。



### 3)シンポジウム

## 「自転車の町 益田市を目指して」

オランダ大使館の方の基調講演にはじまり、その後山本新市長、浅田監督を加え、益田市をどのように自転車の町にするか熱いディスカッションがされました。



### 4)子供自転車教室

益田警察署内駐車場での基本講習にはじまり、公道を使った実践講習では、今までに無い、実践に即した内容でした。



## 5) ペダリング術レクチャー

### 「目からウロコのペダリング術」

翌日のINAKAライドのコース攻略からペダリング術のレクチャーが行われました。普段聞くことの出来ない浅田監督のテクニックが披露されました。



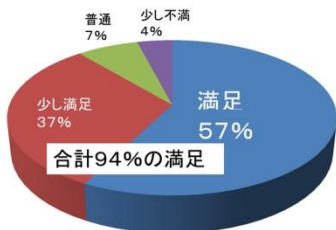
## 6) 益田INAKAライド

炎天下の中、200名に及ぶ選手・スタッフが益田の市内を100km、150km走り抜けました。朝8時スタートで最終組18時のゴールと一日益田を満喫顶きました。参加者の90%近くが満足され、特に沿道での市民の皆様の応援は、参加者の方から絶賛でした。

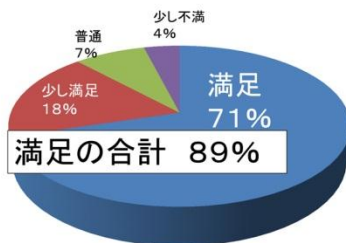


#### 4. 参加者のアンケート

##### 全体評価



##### エイド・ステーション



##### グループ分け



##### 沿道の声援



##### 参加料金



##### 前日受付



##### 次回益田INAKAライドへの参加



94%の満足、次回への参加68%という高い評価を頂きました。そして何より沿道の皆様の声援に高い評価を頂きました。今年度は、アンケート結果を踏まえ尚一層満足頂ける大会にしたいと思います

### 参加者の方々の声

暑い中ありがとうございました。益田市の温かい人柄に感謝しています。来年も参加します(^^)♪

沿道の声援は最高によかったと思います。子供さんから、おじいちゃん、おばあちゃんまで多くの元気をもらいました。今までの大会で最高でした。

コースの景色の良さ、コースのバランスの良さ、どこまで走っても沿道の方の応援の声が聞こえたこと。そして係の方々のケア、どれをとっても最高のライドでした。要望は、ズバリ・・・!「来年も必ず開催して下さい!」です。楽しみに来年を待っています。宜しく御願います。また、この場を借りて実行委員の方々始め、すべての尽力された方々、益田市民の皆様ありがとうございました!!

初回開催大変だったと思います。参加して益田市民の温かい応援と気持ちのこもったおもてなしありがとうございました。来年もぜひ参加します。

沿道の方が団扇や旗を手に応援してくださって事前の宣伝も行き届いている感じで、ASでは大勢のボランティアさんにお世話になって、感激しました。空港やゴールでの演出も良かったし、高校生の皆さんの頑張りにも感謝です。初回とは思えない充実ぶりで今後がますます楽しみです。

## 5. サイクルウィークの経済的効果

### 経済効果

あえてINAKAライドを前日受付という設定にし、前日の宿泊、飲食による益田市経済への効果を図った。その内容を検証すると。

前日の受付の際、宿泊先を記入して頂いた結果、約**140**名の方が、益田市内、周辺の宿泊設備を利用された。

一人当たり 2万円の出費と考え  $\times 140$ 人 = **280万円**の直接経済投下があったと推測できる。

また、食材・備品の益田市業者からの納入金額 **220万円**

合計 **500万円**の経済投下があった。

### 宣伝効果

#### 各種媒体への掲載実績

新聞： 山陰中央新報、中国新聞、毎日新聞、読売新聞

雑誌： サイクルスポーツ、ファンライド、バイシクルナビ、パポーネ  
計 43万部発行

テレビ：NHK島根、山陰放送、日本海テレビ、ひとまるビジョン

インターネットテレビ：NHKちいきのきずな

以上の露出は、全て無償での報道であり、有償の場合 約3千万円の費用が必要であると推測する。

従い、広告宣伝費 **3千万円**相当の宣伝効果  
を上げたと推測できる

## 【会の運営と事務管理について】

### 1. 所轄庁への提出報告・受理

第1期事業年度(平成24年1月18日～平成25年3月31日)の事業報告および収支計算書ほか決算書類を所轄庁に提出報告・受理

### 2. 登記事項

特になし

### 3. 会議等

会の方針、運営及び事業活動の承認と推進・進捗の協議確認を行った。

・理事会

平成24年2月14日、3月12日、5月25日、6月25日、7月9日、  
8月3日、9月20日、10月26日、12月13日、平成25年1月17日  
3月2日、3月24日、3月28日 計13回開催

### 4. 会員状況(平成24年1月18日～25年3月31日)

正会員	15名
個人賛助会員	98名
法人賛助会員	19社
個人寄付	21名
法人寄付	4社
計	157名/社

### 5. 税務事項

・従たる事務所に係わる「島根県県民税の減免申請」及び「益田市法人市民税減免申請」提出

### その他事業に係わる事業実施に関する事項

当期は、「収益事業」には取り組まなかった。

## 第2期事業計画書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

### 1. 第二回2013益田INAKAライド

昨年度に続き、第二回を平成25年9月1日(日)にて開催する。  
本年度は、萩・石見空港の滑走路をコースの一部とし  
日本初の現役空港滑走路を使用する。

### 2. 第1期終了に伴い、認定NPOを本年第1四半期中に申請手続きを取る。

### 3. 各財団からの助成金申請を行い、会の運営を円滑に推進する。